



## ★イネいもち病菌のQoI剤に対する耐性菌発生状況調査★

### [平成25年11月13日発表の防除所ニュース第6号](#)

([https://www.pref.kyoto.jp/byogai/documents/news20131113\\_2.pdf](https://www.pref.kyoto.jp/byogai/documents/news20131113_2.pdf))において、中丹地域でQoI剤耐性イネいもち病菌の発生を確認し、本府では本病QoI剤耐性菌のまん延を防止するため、水稻作におけるQoI剤の使用自粛をお願いしたところです。

今回、QoI剤の耐性菌のうちアゾキシストロビン耐性菌（商品名：アミスターシリーズ）の措置後の分布状況を把握するため、モニタリング調査を実施しましたので、その結果をお知らせします。

#### 検定概要

##### 1 供試材料（採取実施機関：防除所、普及センター、JA等）

令和6年7～8月に、中丹地域（綾部市、福知山市）及び京都市右京区京北の水稲ほ場（12地点）から採取した、いもち病発病葉・発病穂14サンプルを供試材料とした。

##### 2 検定方法（検定実施機関：摂南大学）

採取したイネいもち病罹病葉、またはイネいもち病罹病穂から抽出した病原菌（*Pyricularia oryzae*）のDNAからPCR法を用いて、アゾキシストロビン（商品名：アミスターシリーズ）に対する感受性を検定した。

##### 3 結果（表1）

- (1) 14サンプル中、11サンプルから遺伝子の増幅が確認できた。
- (2) 遺伝子の増幅が確認されなかった3サンプルは、再試験をしたが目的遺伝子の増幅はできなかった。この3サンプルは、DNAが取れないほどにイネいもち病菌が死滅していた又はいもち病ではない可能性がある。
- (3) 遺伝子増幅ができた11サンプル中、野生型（感受性菌）が11サンプル、変異型（耐性菌）が0サンプルとなった。

#### 4 結果の概要

令和6年7～8月に中丹地域及び京都市で採取したいもち病発病葉・発病穂サンプルから、QoI 剤のうちアゾキシストロビンの耐性菌は確認できなかった。

#### 5 備考

- ・ 一部地域の単年度での結果である。
- ・ QoI 剤を使用する場合は、耐性菌まん延防止のため、年1回の使用に抑え、過度の連用は避ける。
- ・ 防除効果の低下を認めたら、すぐに関係機関に連絡する。

表1 QoI感受性検定結果

標本番号	A26L01	A26L02	A26L03	A26L04	A26L05	A26L06	A26L07	A26L08	A26L09 A26N01	A26L10 A26N02	A26L11	P26L01
採取場所	綾部市	福知山市	綾部市	福知山市	福知山市	福知山市	福知山市	福知山市	綾部市	福知山市	福知山市	京北
品種		コシヒカリ	コシヒカリ		ぎぬひかり	コシヒカリ						コシヒカリ
採取日	7月3日	7月11日	7月16日	7月19日	7月29日	8月14日	8月14日	8月14日	8月14日	8月14日	8月14日	8月24日
採取部位	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉・穂	葉・穂	葉	葉
いもち病発病状況	少	少	少	多	少	少	少	少	少	少	少	
水稻生育ステージ	幼穂形成期	幼穂形成期	幼穂形成期	幼穂形成期	幼穂形成期	出穂後	出穂後	出穂後	出穂後	出穂後	出穂後	
検定結果	検定不能	感受性	検定不能 感受性	感受性 感受性	検定不能	感受性						